

銀めっき

Through our surface treatment technology and results,
Create new values.



銀めっきは、金属中で最も高い導電性と熱伝導性を持ち、接点部品や高周波用途において不可欠な表面処理技術です。さらに銀イオンによる抗菌性を活かし、医療・衛生分野でも注目されています。

エルグでは、硬質銀めっきを採用し、耐摩耗性と密着性に優れた皮膜を形成。車両用コネクタ、リレー接点、スイッチ部品などの高信頼性部品に幅広く対応しています。現在はお客様のニーズにお応えする形で光沢銀めっきを中心に対応しておりますが、光沢銀めっき・半光沢銀めっきの両方において豊富な生産実績があります。半光沢銀めっきにつきましても、試作などのご要望がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

エルグでは、3種類の工法からお選びいただけます。

- 工法**
- バレルめっき : 小型部品を大量に一括処理可能(量産性に優れる)、複雑形状に適し、コスト効率が高い
 - 静止めっき : 製品を治具に個別に掛けて処理する、外観重視の部品に最適、膜厚品質に優れる
 - 網付けめっき : 複雑形状や重なり貼り付きの制御が必要な部品に対応



めっき方法	特徴・適用形態	メリット	デメリット
バレルめっき	小型部品を回転するバレル容器に入れてめっき。大量処理に適する。比較的均一な皮膜形成が可能。	<ul style="list-style-type: none"> ・大量処理が可能 ・コスト効率が高い ・自動化に適している 	<ul style="list-style-type: none"> ・部品同士の接触による微細な傷 ・複雑形状や大型部品には不向き
静止めっき (治具掛け)	治具に部品を固定し、静止状態でめっき。中～大型部品や高精度品に適する。外観品質が重視される用途に最適。	<ul style="list-style-type: none"> ・高精度な皮膜厚管理 ・外観品質が良好 ・複雑形状にも対応可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・処理コストが高め ・治具設計が必要 ・生産性はバレルに劣る
網付けめっき	細かい部品を網かごに入れて手作業で処理。バレルでは困難な形状や接触傷を避けたい場合に使用。	<ul style="list-style-type: none"> ・接触傷が少ない ・小型部品でも形状保持が可能 ・バレルより柔軟性あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・網の準備・管理が必要 ・処理量に制限あり ・作業性はやや低下

FAQ(よくあるご質問)

Q. 光沢銀めっきの特徴は？

- A. 高い反射性と美観を持ち、外観品質が求められる部品に適しています。電気・熱伝導性にも優れ、電子部品や接点用途にも対応可能です。

Q. 銀めっき後の変色対策はありますか？

- A. 変色防止処理を施すことで、硫化による変色を抑制しています。保管時は硫黄成分を含む環境(例: ゴム、紙)を避けていただくことを推奨しています。

Q. どのような素材に銀めっきできますか？

- A. 銅、真鍮、鉄系素材などに対応可能です。

#SNSやってます

Follow
me!



小さな部品の精密めっき

株式会社エルグ

群馬県富岡市宇田250-6

TEL 0274-62-2421

FAX 0274-64-2379

